

3. 1 ファイル一覧表の説明

この項では、ファイル一覧表及び各ファイルの主従関係を説明する。また、必要に応じて、ファイル一覧表に関する注意事項を記載する。

3. 1. 1 ファイル一覧表

別添 3. 1 を参照すること。

『3. 4 その他』も併せて参照すること。

3. 1. 2 各ファイルの主従関係

各マスタは、単数又は複数のファイルから構成される。

ファイルの主従関係は、別添 3. 2 を参照すること。

3. 2 提供項目

この項では、ファイル仕様書について説明する。また、必要に応じて、提供項目に関する注意事項を記載する。

3. 2. 1 ファイルの各項目の説明

項番	提供項目名 (論理名)	提供項目名 (物理名)	主 キー	論理データ型		コード INDEX	備考
				型	桁数		
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)

- (1) 項目毎に付与した一連番号を記述する。
- (2) 提供項目の名称を論理名で記述する。
- (3) 提供項目の名称を物理名で記述する。
- (4) 主キーを構成する提供項目の場合は「○」を記述する。
なお、本仕様書の「主キー」には Null が設定されることがある。その場合でも、「主キー」を全て又は一部用いることで、レコードを一意に特定することができる。
- (5) 提供項目の論理データ型を記述する。「日本語」「英数字」「整数」「実数」「日付」「バイナリ」などを記述する。
- (6) 提供項目の桁数を記述する。内部の格納サイズではなく、表示上の値で記述する。
- (7) 提供項目に対応するコード表のコード INDEX を記述する。
- (8) 備考を記述する。

3. 2. 2 ファイル仕様書

別添 3. 3 を参照すること。

3. 3 更新方法

「提供データ」には、“更新データファイル”と“削除データファイル”が存在する。以下に当該データファイルの仕様を示す。

3. 3. 1 更新データファイル

更新データファイルとは、ファイルごとの更新レコードを出力したものである。

ファイルの形式は、提供項目名（物理名）をヘッダ行とした TSV 形式である。提供する項目については、『3. 2. 2 ファイル仕様書』を参照のこと。

提供する TSV ファイルのサンプルを以下に示す。

law_cd	app_num	opp_num	oi_delete_flg	oici_delete_flg	oici_opp_dt	oiop_delete_flg	oiop_opp_decision_content
1	2025000001	1	0	0	20251109	0	0
1	2025000010	1	0	0	20251109	0	0
2	2025000011	1	0	0	20251109	0	0
2	2026000020	1	0	0	20251109	0	0
2	2026000022	1	0	0	20251109	0	0

更新データファイルの TSV ファイルイメージ

3. 3. 2 削除データファイル

削除データファイルとは、特許庁内で取消しとされた事件の情報をファイルとして出力したものである。ファイルには事件のキー情報及び削除フラグを出力する。

ファイルの形式は、提供項目名（物理名）をヘッダ行とした TSV 形式である。提供する項目については『3. 2. 2 ファイル仕様書』を参照のこと。

提供する TSV ファイルのサンプルを以下に示す。

law_cd	app_num	opp_num	oi_delete_flg	oici_delete_flg	oici_opp_dt	oiop_delete_flg	oiop_opp_decision_content
1	2025000001	1	Y	Y			
1	2025000010	1	Y	Y			
2	2025000011	1	Y	Y			
2	2026000020	1	Y	Y			
2	2026000022	1	Y	Y			

削除データファイルの TSV ファイルイメージ

3. 3. 3 更新データファイル・削除データファイルに関する注意事項

3. 3. 3. 1 更新データファイル

更新データファイルは、日次及び週次で提供される。ただし、週次データにおいて期間内に同一事件に係るデータの更新があった場合、当該データは最新のデータが提供される。

3. 3. 3. 2 削除データファイル

削除データファイルは、日次及び週次で提供される。ただし、期間内に事件が取消され、同一事件が再度更新データとして連携された場合、削除データファイルと更新データファイルの双方が提供される。このため、同一事件に係る情報は一度削除データファイルを反映させた後に更新データファイルを反映させる必要がある。

3. 3. 3. 3 更新・削除について

1. バルクデータの種類

バルクデータには、各マスタの更新情報となる「更新データ」と、案件毎公開済情報を取り消すための「取消データ」が存在する。

2. 各バルクデータの内容

(1) 更新データ

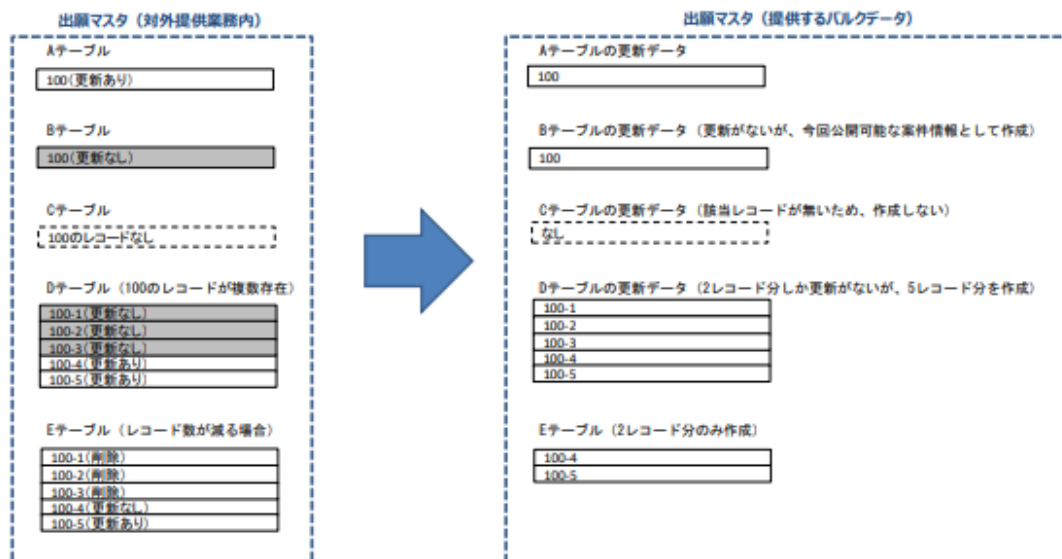
更新データは、公開可能となった案件に紐付く全テーブル情報を送信する。

なお、バルクデータには、その日の最新情報一式が含まれる。

利用者は、上記を考慮した上で、更新データを受信した場合、案件を特定するキーで特定したレコードを一旦削除した上で、挿入する必要がある。

削除については、下記の取消データと同様に主テーブル及び従属するテーブルに対しても削除する必要がある

《ex. 出願マスタについて、出願番号 100 の案件を更新する場合》



(2) 取消データ

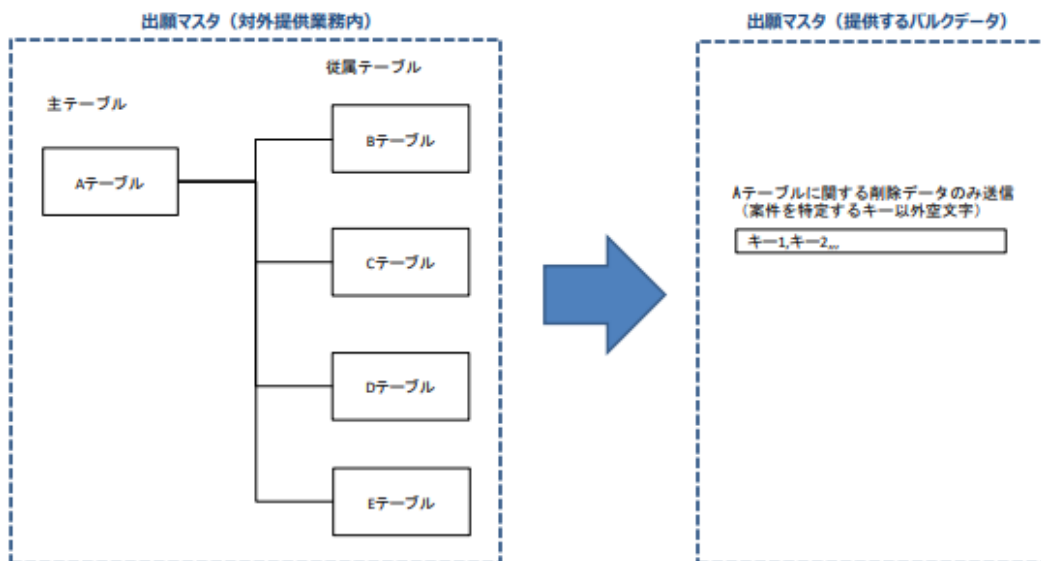
取消データは、提供済の情報を取消する場合に送信する。

なお、各マスタのテーブル間の主従関係が定義 (※1) されている。バルクデータには、主テーブルの削除データ (※2) のみが含まれる。

利用者は、主従関係を考慮した上で、主テーブルの削除データを受信した場合、従属するテーブルに対しても削除する必要がある。

※1) 主従関係の詳細は「別添 3.2 各ファイルの主従関係」を参照。

※2) 削除データは「案件を特定するキー」項目以外は空文字を設定する



3. 4 その他

3. 4. 1 願書に係る新願・旧願の区別

特許庁では昭和 59 年（1984 年）7 月にペーパレスシステムの構築を開始し、平成 5 年（1993 年）7 月より、特許・実用新案について、従来の紙出願に加えて電子出願の受付を開始、方式審査等の電子化を開始した。

これに関連し、書類が電子化されているものを新願（新願書）、書類が電子化されずマスタ情報のみを保持しているものを旧願（旧願書）と呼んでいる。

元来、新願については申請人情報をファイル「申請人情報」に、旧願については申請人情報をファイル「ABC 情報」に保持している。

新願と旧願の区別及び出願区分については、出願番号（年と号）及び四法区分により判定することが可能である。また、新願と旧願により格納されるファイル等が別となるものがある。

新願と旧願の判定方法について、以下に示す。また、新願と旧願により格納されるファイルが異なるものについては『3. 2. 2 ファイル仕様書』を参照のこと。

新願・旧願判定一覧

法域	出願番号（年）	出願区分	新願・旧願区分	出願番号（号）
特許	1989 年以前	国内出願	旧願	000001～499999
		PCT		500001～599999
		延長登録出願		700001～799999
	1990 年	国内出願	旧願	000001～399999
			新願	400001～499999
		PCT	旧願	500001～599999
		延長登録出願	700001～799999	
	1991 年～1999 年	国内出願	新願	000001～499999
		PCT	旧願	500001～599999
		延長登録出願	700001～799999	
	2000 年以降	国内出願	新願	000001～499999
		PCT		500001～599999
		延長登録出願	旧願	700001～799999
実用	1989 年以前	国内出願	旧願	000001～499999
		PCT		600001～699999
	1990 年	国内出願	旧願	000001～399999
			新願	400001～499999
		PCT	旧願	600001～699999
	1991 年～1999 年	国内出願	新願	000001～499999
		PCT	旧願	600001～699999
	2000 年以降	国内出願	新願	000001～499999
		PCT		600001～699999
	意匠	1996 年以前	国内出願	旧願 ^(※1)
1997 年		（申請人対応前）		000001～050000
		旧願 ^(※1)		050001～999999
1998 年～1999 年		（申請人対応後）		全番号帯
2000 年以降		新願		全番号帯
商標	1996 年以前	国内出願	旧願 ^(※2)	全番号帯
	1997 年		（商標ハ一モ施行前）	000001～100000
			旧願 ^(※2)	100001～699999
			（商標ハ一モ施行後）	
			旧願（更新）	700001～750000
			旧願（防護更新）	750001～799999
	1998 年～1999 年		旧願 ^(※2)	000001～
			（商標ハ一モ施行後）	
			旧願（書換申請）	500001～
	2000 年以降		旧願（防護申請）	700001～
新願		全番号帯		

*1: 「申請人対応後」は旧願であっても新願と同様の申請人情報が扱われる。

*2: 「商標ハーモ施行後」は旧願であっても新願と同様の申請人情報が扱われる。